

# テレビ番組表からみた現代社会の諸相（その9）

—— 現代社会の総理解のために ——

伊佐治 大陸

## Aspects of Modern Society Viewed from the Angle of TV Programs (9) Towards An All-Round Understanding of Modern Society

Tairiku ISAJI

### はじめに

現代という時代の飽和感覚ないし飽食感を反映しているのか、TVもまた全体としてつまらなくなっている。後味の悪い番組，単におもしろおかしい番組，志の低い番組などがあふれている。しかし1年間というタイム・スパンを取って眺めてみる時，TVが我々の日常の中に「新しい驚き」をもたらしてくれることも少なくない。知的好奇心を満足させ，近未来の兆候を敏感に先取りさえしてくれる番組もいくつかある。現代という不透明な時代の中であって，しかし筆者はそれほど深刻ぶることもなく，ややチアフルな気持ちで従来と同じ方法による現代社会の60のキーワードを捜し求めてきた。TVの映像情報が持つ一過性という宿命(VTRという強力な文明の利器の活用によって再生視聴は可能となったが)を補うためには文字・活字による記録が必要となる。本稿は，別稿(その8)の「はじめに」で述べた如く，1年間('84年7月～'85年6月)のTV番組表から抽出して構成された「キーワード・ピクチュアII」の後半部分について記録するものである。即ちブロックV～VIIIまで「現代医学」「政治・経済問題」「スポーツ・教育問題」「TVに登場した7人の人物」の29ワードのうち20ワード(紙面の都合により9ワードは割愛)について扱う。TVの映像情報として提示されたものばかりであるが，これらのキーワードをできるだけ正確かつ簡潔に綴って整理することとしたい。

「TVに登場した7人の人物」については従来は意識的に1名の女性を加えていたが，今回からは男女の別に余りとらわれることなく7名を選出することにした。1年間を通じてTVのブラウン管に登場する多様な人物について今後も注目してみたい。なお，ブロックVIII「TVに登場した7人の人物」の背後には，有吉佐和子(小説家)，糸井重里(コピーライター)，稲山嘉寛(経団連会長)，オクタビオ・パス(メキシコ詩人)，釜本邦茂(サッカー元スーパースター)，カール・ルイス(世界一速い男)，北の湖(横綱在位63場所)，クレッソン(フランス女性貿易相)，白鳥邦夫(生涯一教師)，全斗煥(韓国大統領)，田尻宗昭(公害研究家)，チェルネンコ(ソビエト共産党前書記長)，富田勲(シンセサイザー音楽家)，長田弘(詩人)，ナルシソ・イエペス(ギタリスト)，灰谷健次郎(児童文学者)，ポールA.サミュエルソン(アメリカ経済学者)，松本零士(漫画家)，南伸坊(イラストライター)，メリナメルクーリ(ギリシア女性文化科学相)，山下泰裕(柔道オリンピックメダリスト)，山本作兵衛(炭鉱絵巻画家)，ワインバーガー(アメリカ国防長官)の23名が精選もれしていることを記しておく。

Table2 Key Words Picture II

ブロックⅠのキーワード	アフリカ問題	2	アフリカ飢餓
「国際・軍事防衛問題」	近未来学	9	宇宙船地球号
	中国領土問題	52	香港
	軍事問題	11	S D I
	防衛問題	16	核シェルター
ブロックⅡのキーワード	地震	29	スクランブル
「時事問題・科学技術」	事件	14	王滝村地震
	ローカル時事	15	かい人21面相
		51	ポートビル
	遠距離通信技術	59	ワールドインポートフェア
ブロックⅢのキーワード	未来型コンピュータ	10	衛星通信
「学芸常識」	地理・歴史学	31	第五世代コンピュータ
		12	エストニア
	民族学	19	カナリア諸島
	日本文化研究	21	カレン族
	幻の淡水魚	39	日本学
	生物学	34	タキタロウ
	栽培	33	体内時計
	現代美術	42	ハーブ
	微分トポロジー	46	ビデオアート
ブロックⅣのキーワード	天文学	17	カタストロフィー
「現代生活・時代感覚」	個別感覚	44	ハレー彗星
	若者用語	26	ザ〜
	理想女性の若年化	4	イッキ
	パフォーマンス・グループ	57	ロリコン
	演劇的知	5	一世風靡
	漫画・TVアニメ	43	パフォーマンス
	都市住宅問題	23	キン肉マン
	環境保護	60	ワンルームマンション
ブロックⅤのキーワード	ストレス社会	37	ナショナルトラスト
「現代医学」	脳医学	35	テクノストレス
	ストレス症状	27	ザ・フレイン
	便通異常	22	拒食症
	腎臓病	20	過敏性大腸症候群
	ウィルス性感染症	40	ネフローゼ症候群
	痴呆症	45	B型肝炎
	食中毒	49	ほけ
ブロックⅥのキーワード	貯蓄非課税制度	50	ボツリヌス菌
「政治・経済問題」	税金問題	53	マル優
	法律改正	13	大型間接税
	福祉問題	18	割賦販売法
	日本外交	28	児童手当
	官公民共同事業	8	うさぎ小屋
	婦人労働問題	32	第三セクター
ブロックⅦのキーワード	登山	41	パートタイム労働
「スポーツ・教育問題」	第23回オリンピック	38	ナムナニ
	青年問題	56	ロサンゼルス・オリンピック
		54	モラトリアム人間
	教育改革	1	青い鳥症候群
	授業分析	55	臨時教育審議会
	学校体系の複線化	24	口は大きく耳は小さく
ブロックⅧのキーワード	開かれた大学	30	専修学校
「TVに登場した7人の人物」	環境庁長官	48	放送大学
	米国副大統領候補	3	石本茂
	前インド首相	47	フェラーロ
	野鳥研究家	6	インディラ・ガンジー
	ソビエト共産党書記長	36	中西悟堂
	冒険家	25	ゴルバチョフ
	分子生物学者	7	植村直己
		58	渡辺格

## ブロックVのキーワード「現代医学」の理解

### 拒食症

拒食症は医学的には神経性食欲不振のことであり、思春期から青年期にかけての女性が起こしやすい常習的行動異常である。何らかの不安や精神的緊張から、極端な偏食(特定の食物しか食べない)、多食(食べても食べても止まらない)、異食(食物以外の物を口に入れる)が引き起こされるが、拒食症の場合は全く物を食べなくなってしまう。当然の結果として「骨皮筋子さん」となり体重は30～20kg台にまで落ち込んで、全身の衰弱さえ招くことになる。

拒食症は身体的、知的な面での著しい遅滞や器質的疾患には原因がないのにもかかわらず、情緒的葛藤に基づいて起こる一種の情緒障害(emotional disturbance)である。これは思春期、青年期のストレス解消、欲望コントロールが困難となっている現代という時代の反映でもある。拒食症に対しては専門家による精神医学的な診断と治療のとりくみが必要である。

### B型肝炎

肝炎にはA型、B型、非A非B型の3種類がある。A型ウィルスの感染は急性肝炎を起こすが、比較的問題は少ない。B型は血清肝炎と呼ばれ、血液を介して感染するウィルス性肝炎の一種である。輸血による感染が目立ったが現在は予防法も進み、むしろ母子感染のほうが多い。感染してもはっきりした自覚症状が出ないケースが多く、発見しにくいやっかいな病気である。B型肝炎はHBsウィルスによって発病する危険度の高い感染症であり、急性肝炎だけでなく慢性肝炎や肝硬変、肝ガンなどの恐ろしい病気の誘因ともなる。日本を含めたアジアが主な感染地帯である。日本ではB型肝炎が肝臓疾患の30%を占め、発病患者は約40万人、ウィルス保有者は推定300万人いるといわれている。

「21世紀の国民病」といわれるB型肝炎は、かつて不治の病とされた結核に次ぐ第二の国民病になる恐れが大きい。このため厚生省の中央薬事審議会は、'84年9月、安全性を確認してB型肝炎ワクチンの実用化を承認した。このワクチンは大人用だけでなく新生児用も開発されている。厚生省は'85年6月から「B型肝炎母子感染防止事業」をスタートさせた。妊婦検診の際、母親がウィルス保有者かどうかを検査し、出生時に母親から新生児にB型肝炎が感染するのを防ぐものである。妊婦の血液検査を実施して、感染の恐れがある新生児にワクチンを投与する感染防止事業である。

### ぼけ

厚生省発表の「長寿番付」によると100歳以上の長寿は全国で1,740人を数えるが、老化・高齢化とぼけは深い関係にある。ぼけ(呆け)とは痴呆症の俗称であり、知・情・意の精神機能が侵されて、その人の人格が正常でなくなる精神症状をいう。とりわけ知能の持続的に低下した状態をさす。ぼけは医学検査で診断のつく症状であり、80歳以上の女性に高率に起きる進行性の病である。青・壮年期に起こるぼけは、昔から「早発性痴呆」といわれている。老年期になって発病するものに、かつては梅毒による脳障害がよくみられたが、高齢化時代に入って「老年性痴呆」「老人呆け」といわれる精神異常者が増えている。日本人の85～89歳では、男性の19%、女性の27%が痴呆症である。

老人ぼけにかかると記憶力の低下、感情障害、失語、歩行障害などの特有の症状が現れてくるが、これは血管閉塞など何らかの脳血管障害を原因とする場合が多い。つまり、脳血管障害による血流不足(酸素不足)で脳細胞の呼吸をつかさどるミトコンドリアが壊され、老人ぼけが引き起こされるのである。

### ボツリヌス菌

’84年9月、NHK総合TVの「クローズアップ」では、「真空パックの盲点・食中毒事件調査から」と題して、その年の夏に十数人の死者を出した熊本名物「辛子レンコン」の中毒死について取り上げられた。この事件の真犯人は青酸カリの5万～10万倍といわれる猛毒素を出すボツリヌス菌であり、日本では稀なA型ボツリヌス菌によるものであることが判明した。「ボツリヌス」とはラテン語であり、ソーセージ(腸詰)の意味である。この菌の発見は19世紀末であり、欧米ではソーセージからよくボツリヌス菌中毒が発生したことからこの名がついた。酸素を嫌うこの菌は土の中や動物の腸管内など地球上のどこにでも生存するが、そのままでは人体に害を及ぼさない。空気がある状態より真空状態のほうが活発に繁殖できる嫌気性の菌であり、食品中で嫌気性条件が満たされる時、菌の胞子が猛毒素を産出しはじめる。

食品の保管技術の進歩とともに開発された真空パックこそボツリヌス菌にとっては住みよい天国であり、真空パックにも危険がひそんでいることを意味する。しかしこの菌は熱に弱く、120℃で4分間殺菌すれば完全に死んでしまう。真空パック食品には殺菌法が義務づけられているから、これが完全履行されなければならない。消費者の立場からすれば、一般に真空パック食品といえども、1.必ず冷蔵庫に入れて保存すること、2.食べる時は十分加熱すること——が必要である。猛毒素を出すボツリヌス菌の特徴を科学的に分析し、真空パックの中で菌がどのように繁殖するかについての解明が待たれている。食品保存法として開発された真空パックへの過信を慎み、その盲点の克服が追究されなければならない。

## ブロックVIのキーワード「政治・経済問題」の理解

### 大型間接税

大型間接税はいわゆる消費税といわれるもので、物品やサービス一般を対象に課税する消費税の総称として用いられる。海外旅行で買物した時に定価の何パーセントかを上乗せして支払う場合のように物品を消費する際に賦課される租税、通行税や娯楽施設利用税のように消費行為そのものを課税物件とする租税を消費税という。所得税や法人税に代表される直接税と違って、間接税は納税義務者と税負担者が別人であることを予定した税である。現行の税では物品税、酒税、ガソリン税などがこれに当たる。

大平内閣は55年度中に一般消費税導入の準備を進めるとの意図を表明したが国民の反対に会い、それ以降、大型間接税は歴代内閣のタブーとなった。しかし歳出削減だけに頼る国の財政再建はもう限界だとする認識が政府では高まりつつある。租税収入の不足を補うため、また新たな増税政策の一環として、全ての商取引等財貨の動きに焦点を合わせて新しい消費税を設けるかどうか論議されるようになった。これが大型間接税または消費新税と呼ばれるものである。税金をめぐる用語の数は多く、また次々と新しい用語が造語されているが、ずばり大型間接税という租税が現実にあるわけではない。

### 児童手当

年金以外の所得保障として’71年5月から児童手当法が施行された。児童手当は日本に欠けていた制度であり、これによって我が国の社会保障も国際的に一応は遜色のないものとなった。児童手当は全国民を対象とする単一制度であり、義務教育終了前の児童を含む3人以上の子供を持つ家庭において、第3子以降の児童に支給される。この場合児童とは乳児、幼児、少年を含む満18歳に満たない者のことである。児童手当が支給されるとはいえ、両親などの所得制限がなされていて、支給額(月額5,000円)も高くはない。財源は、被雇者については事業主10

分の7，国10分の2，地方10分の1，非被雇者については国6分の4，地方6分の2と複雑な構成になっている。

こうして不完全ながらも児童手当が日本でスタートしたが，近年の財政危機のもとで，各種の福祉政策に対する見直しの要求が強まり，児童手当についても制度やサービスの縮小，内容のチェックが進められている。'84年12月には，中央児童福祉審議会が児童手当制度の抜本的改革を求める意見書を増岡厚生大臣に提出した。それには，現行の第3子以降の児童について支給する方式を改め，当面は対象を第2子以降に拡大するが支給期間は乳幼児期に限るべきとする方式が盛り込まれている。これは，臨時行政改革推進審議会に制度の抜本の見直しを求められたのに応えて，従来の「子だくさんの家庭の防貧手当」というイメージを払拭して世代間の助け合いというイメージを浮き立たせたものとされている。意見書の内容を受けてどのような改革案を作るかは現在進行中であるが，増税なき財政再建の中で児童手当の性格と内容も変化しようとしている。

### 第三セクター

第三セクターとは，地域開発や都市づくりの主役として地方公共団体，国，民間企業の共同出資で設立される事業体のことである。つまり，本来は国や地方公共団体がやるべき仕事（公共セクター）に，民間の資金と能力（民間セクター）を導入した事業体方式である。公共セクターが民間セクターに出資するかたちでの企業育成の側面もある。現在，第三セクターの役割や成果が期待され，増加の傾向にあるが，その例は心身障害者の雇用促進のための事業体にもみられる。しかし最も典型的なものは，国鉄の地方赤字路線廃止に伴って，第三セクター方式による地方線の経営・維持を活発化しようとする動きである。岩手県三陸海岸を走る三陸鉄道（久慈—盛岡間）は，'84年4月から地元民間企業と地方公共団体が経営を引き受ける第三セクター方式の開業を実現させた。国鉄の赤字ローカル線を県と地元が引き継いだ全国初の第三セクターによるローカル線経営は，地域の実情に応じた運賃値上げと徹底した合理化にその特徴がある。

国鉄の分割・民営化の流れの中で，現在，角館，矢島（秋田），丸森（宮城・福島），明智，樽見（岐阜），神岡（岐阜・富山）などの赤字ローカル線が第三セクター方式を準備中である。'84年7月，岡多・瀬戸線も地元による第三セクター方式の経営が打ち出された。この路線は名古屋市の東北部を環状に結ぶ全長45.8 kmの鉄道ルートである。'76年に岡崎—新豊田間（19.5 km）が開通し，新豊田—高蔵寺間の工事もほぼ完了して，開業が間近に迫っている。

### パートタイム労働

労働省の「婦人労働白書」（'84年版）によると，'84年の女性雇用者数は1,518万人で遂に家事専業者の数を上回った。中でもパートタイマーは増え続け，前年より22万人（7.2%）増えて328万人となった。女性雇用者の22%がパートということになる。この女性パートタイマーは家庭の主婦層を中心に'60年代半ば以降増加している。オイルショック時には一時的に減少したが，その後また増え続け330万人に近づくようになった。

労働時間，日数，作業内容ともに一般の常用労働者と変わらないケースも少なくないが，1時間当たり賃金は一般女子労働者のそれを100とすると75.3である。企業側としては人件費が割安となり，雇用量の調整が容易であるとの理由から一層労働力のパート化を図る傾向にある。主婦を中心とするパートタイマーは急増中であるが，フルタイムの女子労働者と較べて，賃金，超過勤務手当，休日，休憩，年休などの面で劣り，また常に解雇の脅威を受けるなど労働保護の観点からの問題は大きい。そこで'84年にはようやく政府で「パートタイム労働対策要綱」がまとめられ，行政指導によってその保護が施策されることとなった。無税所得の限度額につい

ては'84年から90万円にのびた。なお、現在、パート保護法制定の動きが出ている。

## ブロックⅦのキーワード「スポーツ・教育問題」の理解

### ナムナニ

「シェーシェ」「ありがとう、みんなありがとう」.'85年5月26日午前11時45分、日中両国旗が世界第2位の未踏の処女峰7,694mのナムナニ山頂に翻った。地球の屋根、西チベット高原の総合学術調査も兼ねた日中友好納木那尼峰合同登山隊は、1人の犠牲者もなく中国チベット自治区の大氷河に覆われたナムナニ峰初登頂に成功した。今世紀初頭から世界の登山家の憧れの的だったナムナニ峰は中国登山協会と同志社・京都大学の山男達によって遂に征服された。日本側隊員24名(平林克敏・登山隊長)の中で頂上アタックに選ばれた山男は和田豊司(39歳)、吹田佳晴(35歳)、松林公蔵(35歳)、吹田一郎(26歳)の4人である。

日中合同登山隊のナムナニ峰登頂へのルートについて記しておこう。北京からカシュガルへと空路を飛んだ彼等は、4月14日、カシュガルからチベット高原を目ざして長距離自動車行を開始した。砂煙を舞い上げてタクラマカン砂漠を走り抜け、険しい道のりのコンロン山脈を越えてチベット高原へ向かった。西チベットの中心地シーチュアンホーに到着したのは4月21日である。ここはインダス河源流地帯である。ナムナニ峰周辺にはガンジス、インダス、ブラマプトラなどユーラシアの大河の源流が集まっている。チョモランマ(8,848m)、マナスル(8,163m)、アピ(7,132m)などのヒマラヤ山脈の山々がそびえ、ナムナニ峰山麓にはマナサロワール湖が横たわる。日中両国の山男達がチベットの最深处で新しい記録を樹立できたのは、とりわけマナサロワール湖畔以降の苛酷な自然条件下での難儀をものとしなかったからである。

### 青い鳥症候群

「青い鳥」(L'Oiseau Blue)とはフランスの作家メーテルリンクが'09年に公にした童話劇であり、よく知られるように、2人の子供チルチルとミチルが幸福を象徴する青い鳥を探して様々な国を遍歴する物語である。思春期精神医学者清水将之氏(名古屋市立大学医学部)は、これにヒントを得て、現代の社会病として'70年代後半より出現した奇妙な青年の精神的な病を青い鳥症候群だと命名した。

青い鳥症候群とは、輝かしい成績で大学を卒業し大企業や中央官庁に就職した人も羨むエリート・サラリーマンの青年達が、なぜか「青い鳥」を求めて次々と転職する症状をいう。結構な年をしながらも「もっと自分にあった仕事があるはず」と簡単に転職し、自己のアイデンティティーや生きがいを捜し続けるがついには救いを求めて精神科医を訪れるのだという。彼等には共通した生育歴と教育ママによる子育て法のまずさが見られる。彼等は親にとって素直な「よい子」として育ち、第1次反抗期(生後1歳半～3歳)、第2次反抗期(10～12歳)のいずれにおいても殆ど「反抗」を企てることがなかった。自己主張すべきところを大人しく黙っていて、素直に親のいうままの生活を過ごしてきたため、生育過程に紆余曲折や節目がない。人間の発達過程に必然的に生じてくる反抗期をおしつぶし、親(特に教育ママ)の敷いたレールの上をなめらかに走ってきた人間は、大学を卒業し社会人になった途端に奇妙になってしまう。青い鳥症候群の青年は尊大で協調性がなく機転が利かずこらえ性がないとの共通性を持つ。これを予防するためには、子供の自主性をふみにじるような子育てをしないことだけで十分である。

### 口は大きく耳は小さく

「口は大きく耳は小さく」とは、'84年8月、NHK教育TVの教師の時間「この人この実践」

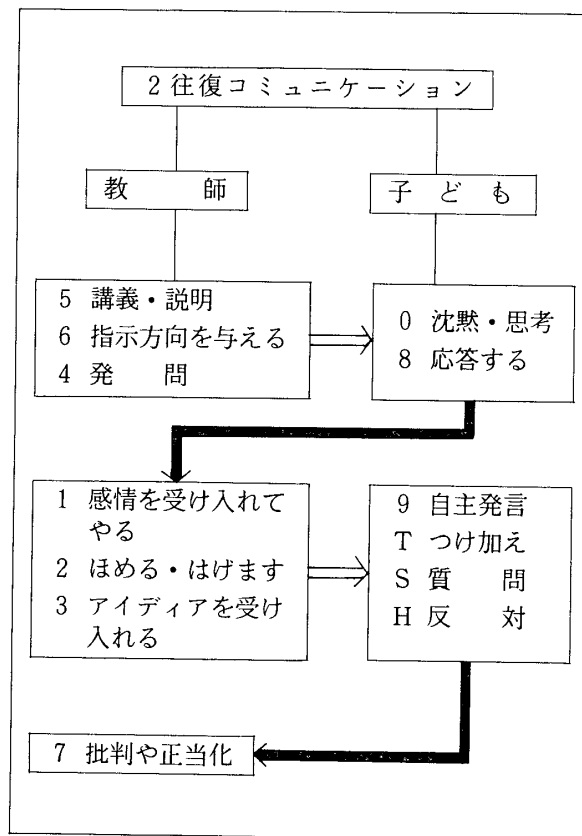
で放映された番組のタイトルである。そこでは、東京都武蔵野市立小学校教諭、加藤好男先生の授業分析研究が映像紹介された。徹底的に現場教師の立場に固執しつつ、氏は一斉指導の中での子供の個別的展開のあり方を追究している。氏は教育工学的手法を導入して、日常ふだんの授業改善に役立つ科学的授業分析の方法を開発してきた。45 分間の授業内容が教師と子供の言語コミュニケーションの側面の事実を示す15 のカテゴリーに分類され、それをハンドヘルド・コンピュータに1秒間隔で入力して授業記録が作成される。15 カテゴリーとはN. A. フランダースによる相互作用分析の10項目と岡山県教育センターがそれに5項目を追加したものである。即ち、1. 感情を受け入れてやる、2. ほめる・励ます、3. アイディアを受け入れる、4. 発問、5. 講義・説明、6. 指示・方向を与える、7. 批判や正当化、8. 応答する、9. 自主発言、T. つけ加える、S. 質問、H. 反対、O. 沈黙・思考、W. 教師作業、w. 生徒作業の15 カテゴリーである。

授業記録者は授業を観察しながらハンドヘルド・コンピュータにカテゴリーをデータ入力する。得られたデータはデータ処理用のマイクロ・コンピュータで解析され、その結果は授業改善に役立てられていく。授業分析結果はフェイス・ダイアグラムにも表現される。これは分析結果の数値を人間の顔の形に視覚化したものであり、コンピュータ授業診断として視覚的に理解しやすい利点を持っている。口は子供の語り(発言)、耳は教師の語り(講義・説明)、頭は教師の発問、目は子供の意欲的取り組み、鼻は作業などを表している。「口は大きく耳は小さく」とは、授業において教師の語りをできるだけ少なくし、子供自身に考えさせたり、発言の場面を多くすることを方略とする授業を意味する。コンピュータ授業診断のフェイス・ダイアグラムによれば、しゃべりの時間の多い教師であることを控え、子供に考えさせたり自主発言を誘発する授業こそ思考力を強める「よい授業」である。全国の心ある教師達のペースメーカーとしての加藤先生の精力的授業研究とそこで主張される一斉授業における2往復コミュニケーションの仮説は、臨教審をはじめとする多くの教育論議の中で鮮やかな光を放っている。

### 専修学校

専修学校は'75年7月の学校教育法改正によって成立したが、それは従来の各種学校を整備改善したものである。専修学校は「職業生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする組織的な教育機関だと規定され、各種学校よりも高度で積極的な意義を持つ学校として発足した。修業年限1年以上、年間授業時数800時間以上、生徒数40人以上という3つの基準をクリアすれば、認可を得て専修学校になることが可能であり、この基準に達しないものは従来のままの各種学校として扱われる。

専修学校の組織の基本は3課程であり、中学校卒業後の課程を高等課程、高校卒業後の課程



2 往復コミュニケーションの仮説

を専門課程、それ以外を一般課程としている。高等課程をおく専修学校は高等専修学校と称し、'86年春からは修了者に大学入学資格が与えられることとなった。学校数は現在810校、生徒数は86,000人を数える。専門課程をおく専修学校については専門学校と称している。専修学校の教育分野としては工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、家政、文化・教養の8分野に分けられ、教育内容は和洋裁からはり・きゅう・マッサージ師、コンピュータなど千差万別である。時代の期待を担ってスタートした専修学校は全体で約3,000校、生徒数53万8,000人である。専修学校は今日一つのブームであり、高校・大学への進学率の頭打ち現象にも一役買ってきたが、条件を備えた高等専修学校の修了者に大学入学資格が付与されたことは戦後の単線型学校体系に複線化のルートが加わった事を意味し、中等教育多様化に一層の弾みをつけることとなる。

### 放送大学

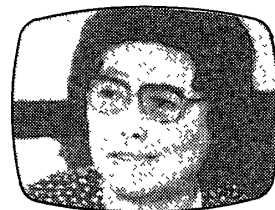
'84年12月に学生募集を開始し、'85年春から第1期生を入学させた放送大学(香月秀雄学長)は教養学部のための単科大学である。「お茶の間で学んで大卒」をキャッチフレーズとするこの放送大学は、日本におけるTV、ラジオによる初めての正規の大学である。入学資格の一つとして、放送大学の授業が視聴できる関東地区在住の18歳以上の者でなければならない。予想以上の盛況な志願となり、募集定員1万人に対して2万人近くの応募があった。このため急拠枠が拡大されて17,038人(最高年齢は86歳)の入学が許可された。

生活・科学、産業・社会、人文・自然の3コースがあり、さらに「生活と福祉」「発達と教育」「社会と経済」「産業と技術」「人間の探究」「自然の理解」という6専攻に分かれている。学生は卒業を目指す「全科履習生」、自分の学習したいテーマに基づき一定の科目だけ履習する「選科履習生」(期間1年)、「科目履習生」(期間1学期)の3種類に分かれる。全科履習生は卒業までに124単位以上の習得が必要であるが、そのうち20単位以上は教員が直接指導する面接授業で取ることが義務付けられている。放送大学は伝達能力は抜群に優れていても学生とのふれあいが極端に少ないため、この面接授業には少なからぬウエイトがかけられている。千葉市若葉の大学本部の他に、千葉、東京第一・第二、神奈川、埼玉、群馬の6ヵ所には学習センターが設けられている。学生はいずれか一つに所属して、そこで単位認定試験を受ける。各センターには放送番組の再視聴や自習のための視聴学習室もある。教員、職員約250名のスタッフを容する放送大学は多くの課題を抱えながらも第1期生の卒業に向けて前進し始めた。北海道、東海、九州などにおける放送開始計画については通信衛星の打ち上げによって全国的な放送のカバーが可能であるため、近未来での実現の見通しは皆無ではない。

### ブロックⅧのキーワード「TVに登場した7人の人物」の理解

#### 石本 茂

'84年11月の第2次中曽根内閣の組閣により、国務大臣、環境庁長官として就任したのは看護婦出身の石本茂女史(参議院比例代表区選出)である。女史は'13(大正2)年に石川県で生まれ、高等女学校、日赤病院看護婦養成所を卒業後、社会人として看護生活に入った。戦時中は日赤救護班として従軍している。戦後は、厚生技官、国立山中病院の総婦長などを経て国立ガンセンターの初代総看護婦長として活躍した。'65年には参議院選挙で全国区から無所属で初当選した。看護婦の労働条件改善のために政界入りを果たし、以後は幅広く働く婦人の地位向上や職場改善に取り組んできた。'69年には28万人をか



映像1 石本 茂



かえる日本看護協会の会長に選ばれ、'73年、'76年に厚生政務次官、'81年に参議院懲罰委員長、'83年に参議院社会労働委員長などを歴任した。就任中の石本長官は、国民の健康で文化的な生活のための環境づくりの先頭に立った。環境庁では国民の生活環境擁護の立場から、洗剤から核廃棄物に至るまで様々な問題が扱われる。環境汚染の一つとしての水汚染問題を一步前進させる「湖沼法」はすでに成立したが、開発による自然破壊や公害を事前にチェックする環境アセスメント法への取り組みは現在継続中である。石本長官は、子供達にも環境保全の重要性を認識させ、自然を大切にすることを育むための環境教育についても人々に強く訴えかけた。

#### フェラーロ

'84年11月米国大統領の民主党候補としてカーター政権下の副大統領ウォルター・モンデールが選ばれた。彼は副大統領候補に女性下院議員ジェラルディン・フェラーロを指名して共和党のレーガン陣営と真向から対立する選挙戦を展開した。政治運動組織のこれほど高い地位に女性が入ったのはアメリカでは初めてである。



映像2 フェラーロ

イタリア系移民の出身のフェラーロは、'35年にニューヨーク州ニューバーグに生まれた。幼くして父を失ったため、針仕事などして働く母の手一つで育てられ、大学はメリーマウント大を卒業した。その後、教師の資格を取ったり、夜学で法律を学び、'60年には弁護士試験にパスした。イタリア系の夫を持ち、3人の子供を育てながらも弁護士を開業した。地方検事補を勤めた時は性犯罪や幼児虐待などの裁判を扱い、男女の給与の不平等にも関心を持った。'78年にはニューヨーク市で下院選挙に初出馬して当選し、その後は政治家としての頭角をめきめきとあらわした。モンデールは選挙で組むコンビの副大統領候補として彼女に白羽の矢を立てたのである。圧倒的なレーガン人気の前に選挙は惨敗に終わったとはいえ、史上初めての女性副大統領候補として戦った彼女は、女性の政治的、社会的進出の点で大きな歴史的役割を果たし得たと言える。「私は政治家であると同時に女である」と母、妻の主張も怠らなかったフェラーロ女史のタフネスな行動ぶりに、男女を問わず、全世界の人々は拍手を惜しまなかったのである。

#### インディラ・ガンジー

暮れなずむインドの空に白い煙が上がっていく。父ネールの眠るニューデリーのジャナム川岸で、インディラ・ガンジー前首相(当時66歳)は'84年11月3日夕刻、葬儀場に参集した数万人の人々に見守られながらダビに付された。ヒンズー教徒の悲しみの中をダビの炎は静かに燃え、彼女の魂は父ネールのもとに帰ったのである。



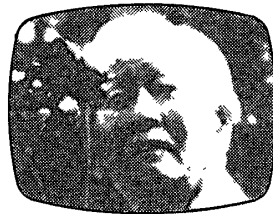
映像3 インディラ・ガンジー

初代首相ネールの一人娘として、インディラ・ガンジーは幼少の頃から独立運動の中で育った。父ネールが獄中から手紙で書き送った「わが子に語る世界歴史」によって、インドの栄光に対する強い使命観を授けられたとされる。「インドの父」ガンジーとは同姓であるが、それは夫のガンジー姓を名乗るからである。'64年、父の死後に情報教育相として初入閣し、'66年に49歳で首相に就任した。以来、途中に3年の中断をはさんで16年間首相の座を占め、貧乏追放をスローガンにインドの自給自足経済を展開してきた。'74年には初の核実験を行ったが、この頃より食糧不足と石油危機が重なって経済が悪化した。'80年代に入って対外開放の体制を開始したものの、国内では州政府の独自性が強まり騒乱が続いた。アッサム州の州外人排除運動、パンジャブ州でのシーク教徒過激派による騒乱が激しくなった。分離独立を求める少数派のシーク教徒を軍の力で武力鎮圧したため、インディラ・ガンジーは首相官邸の執務室へ向かう

途中、警護隊員のシーク教徒によって報復テロの凶弾を浴びた、建国 37 年の今も身分や宗教の違いでバラバラな人口 7 億の大国インドは、女帝とさえ呼ばれた「力の政治家」を失った。期せずして、バトンは新しい世代としての長男ラジブ・ガンジーに手渡された。

#### 中西悟堂

随筆家・詩人そして天台宗の僧正でもあった中西悟堂さんは野鳥研究家として自然保護運動を続けてきたが、'84 年師走、89 歳の大往生を遂げた。1895 (明治 28) 年に金沢市で生まれ、少年時代は平林寺の小僧であった。後には四国や比叡山でも僧職を務めたことがある。青年時代には専ら詩を書くことが中心であった。しかし詩人の生き方をめぐって激しい対立を体験した後、東京・杉並の雑木林に住んで木の実、草の実など何でも食べる木食生活に入った。その時行った野鳥や昆虫の観察が'34 年の日本野鳥の会の創設に結びついた。同時に発刊した機関紙「野鳥」は著作物の印税を注ぎ込んで続刊し、一貫して愛鳥運動を展開してきた。



映像 4 中西悟堂

戦後も鳥類保護に努め、'47 年以来'80 年まで「日本野鳥の会」の会長であった。還暦を過ぎてもおテントを担いで山に入って観察を進め、また自然保護には少なからぬ意欲を見せ続けた。自動車道路建設などの観光開発がとめどなく自然破壊を起こしていることを厳しく批判し、高齢に達してからも自然保護への情熱と物質過剰文明への警告には衰えを見せなかった。「野鳥と生きて」('56 年)、「自伝抄・野鳥開眼」('79 年)、「かみなりさま・わが半生記」('80 年) など多数の著書を残して、中西悟堂さんはあの世へと旅立った。

#### ゴルバチョフ

ブレジネフ、アンドロポフ、チェルネンコと 3 人のソビエト共産党書記長が次々に逝去し、'85 年 3 月、従来の長老支配を破ってソビエト最高指導部の中から新書記長として選出されたのがゴルバチョフである。54 歳の新書記長誕生により、ソビエト指導体制は大幅に若返りを見せることになった。彼は'31 年、南ロシアの穀倉地帯スターヴロポリ州プリボルノエの生まれである。'46 年にコムソモール (共産青年同盟) に参加し、国営農場でのコンバイン運転手の経験もある。コムソモールの有望幹部としてモスクワ大学に送られ法律を学んだ。後にスターヴロポリ農業大学の通信教育課程も修了した。共産党には'55 年入党の戦後派であり、'71 年に党中央委員に選ばれた。農業関係の仕事で手腕を磨き、総合食糧計画をまとめた実績を持つ。



映像 5 ゴルバチョフ

彼は、党の理論的指導者の故スースロフ政治局員、故アンドロポフ書記長の系列である。チェルネンコ書記長時代の'84 年 12 月には、外交委員長として 30 人の議員代表団と共にイギリスを訪問している。サッチャー首相との会談では、軍縮問題で、宇宙軍拡レースの防止、東西とも一層低い軍備レベルでの安全保障の追求——などの点で意見の合意を見ている。後日、サッチャー首相はゴルバチョフを評して、「気に入った。仕事相手にしたいものだ」と語った。

#### 植村直己

'41 年生まれ、兵庫県日高町出身の植村さんは、'60 年に明大農学部入学と同時に「シゴキの明治」として聞こえた明大山岳部に入部し、以来、登山家・探検家としての輝かしい足跡を残した。モンブラン、キリマンジャロ、アコンカグアなど世界の 5 大陸の最高峰登頂に成功した他、単独でアマゾン川、北極圏、グリーンランドなど



映像 6 植村直己

を探検・踏破した。「青春を山に賭けて」「北極圏一万二千キロ」「北極点グリーンランド単独行」などの著書には、彼の強靱な体力と強情なまでの精神力、繊細かつずば抜けた行動力の軌跡が書き記されている。'78年4月単独で北極点に到達した快挙は、日本人では勿論、世界でも初めてのことである。カナダの北東端、エルズミール島のコロンビア岬から極点に向けて出発し、約2ヵ月にわたって氷上を走破した後、17頭の犬達とともに極点をアタックできたのであった。

時下だり、'84年1月になって彼は今度は携行食料カリブの肉を携えながら厳冬酷寒のマッキンリーに挑んだ、2月12日、マッキンリーの冬季単独登頂には成功したものの、16日に5,000m付近でヘリコプターに手を振った後に猛吹雪の中で行方を絶った。単独の私的探検家・冒険家としての生前の彼のことをここに記しておこう。「現代社会の風潮では、きらびやかな人目につく結果が評価され、そこに至るまでの過程や失敗は無視される。しかし、当人が全力を尽くしたと言い切れる場合の失敗は失敗ではない。なぜなら人は生きている限り目標を立て、それに挑んでいくのだから。」

#### 渡辺 格

日本の分子生物学のパイオニア渡辺格氏は、'16(大正5)年松江市の生まれである。東大理学部化学科を卒業し、現在は慶応大名誉教授、北里大衛生学部教授である。DNA(デオキシリボ核酸)、RNA、ウィルスの研究を中心に分子生物学の先駆者として活躍し、著書「人間の終焉」「生命のらせん階段」、訳書「偶然と必然」(J. モ



映像7 渡辺 格

ノー),「人間に未来はあるか」(G. R.ティラー)など多くの著作・訳書を通じての啓蒙活動にも力を注いでいる。

戦時中に放射線の生物に対する影響を研究し、それが契機となって戦後は核酸研究に転じた。ウィルス研究の重要性をいち早く認識し、ウィルス、遺伝、発生、腫瘍などの問題の基礎に、将来は物理、化学の領域をも包含した新しい研究領域が開拓されることを予言した。自らも物理化学者としてそれに参加し、'50年代後半から始まる分子生物学のパイオニアとなった。分子生物学の幕明けとともに、生命の根源としての遺伝子DNAの研究が深まり、'60年代半ばには、地球上の全ての生物は見た目の多様さ、働きの複雑さにかかわらずDNA型生物として同一であり、その上に遺伝子暗号までも同じであることが実証された。'70年代半ばには組換えDNA技術が開発され、地球上のDNA型生物がDNAそのものを部分的に交換・共有することが可能となった。それに細胞融合技術などが加わって、DNAから出発する生命科学(バイオテクノロジー)が誕生した。渡辺氏によると、現在の自然科学は物質世界の理解の上に生命(バイオ)の世界が解明され始めており、さらにその上で精神生命の探究を視野の中に収めている。現代は物質時代の上にバイオの時代をつくる入り口にあるが、その次の時代は、物質世界と豊かなバイオの世界の上に知性や精神を豊かにする時代を創ることになるだろうというのである。

#### お わ り に

元来キーワード(鍵的概念)とは、情報という扉の向こう側を読み解くための鍵になる重要語であり、情報を効率よく入手するためのインデックスである。インデックスとしてのキーワードそれ自体は表層的な記号にすぎないのであり、その深層に含まれる意味を求め、扉の向こう側の内実を認識するためにはある程度の冗長な説明文の展開が必要である。扉の向こう側をどれだけ適切に読み解き得たかは定かではないが、本稿では現代社会にかかわる「キーワード・ピクチャII」の後半部分、つまりブロックV~VIIIまでの20個のキーワード(残り9個

は割愛)について文章化してきた。ここで要約としてまとめてみると、ブロックV「現代医学」では、「青年期の女性に特有な精神的ストレスから引き起こされる異常な食行動」「血液を介して感染するウィルス性肝炎、母子感染を防ぐための妊婦の血液検査とワクチン投与システムの発足」「高齢化社会に伴う老人性痴呆症の増加」「食品保存法として開発された真空パックの盲点、猛毒素をもつボツリヌス菌繁殖による食中毒の害」について取り扱った。

ブロックVI「政治・経済問題」では、「国の財政再建のための増税政策の一環として検討されている消費新税」「財政再建に伴う児童手当に見直しの動き」「官公民を一体化させた事業体方式、とりわけ国鉄赤字ローカル路線の活性化のために導入された方式」「パートタイム労働に従事する女性雇用者数増加とその社会問題化」について整理した。ブロックVII「スポーツ・教育問題」では、「日中合同登山隊による世界第2位の未踏峰ナムナニの征服」「自分にあった仕事を求めてあてもなくさまよい歩く現代青年の風潮」「東京都武蔵野市立第二小でのコンピュータ授業診断のとりくみ」「修了者に大学入学資格を付与することにより、中等教育多様化に弾みをつけることになった専修学校」「イギリスのオープン・ユニバーシティーをモデルとして始められた、TV・ラジオを通じて茶の間で学ぶ日本での新しい大学の発足」について扱った。

ブロックVIIIの「TVに登場した7人の人物」では、「第2次中曽根内閣の組閣により国務大臣、環境庁長官として入閣し、環境行政に取り組んだ看護婦出身の石本茂女史」「米国副大統領候補として選挙運動を闘い、女性の政治的・社会的進出の点で歴史的役割を果たしたフェラーロ」「インドの貧乏追放と対外開放に貢献したが、シーク教徒に対する武力鎮圧の報復を受けて倒れた、ネール首相の一人娘で力の政治家といわれたインディラ・ガンジー」「鳥類や自然保護に長年にわたって情熱を傾けた野鳥研究家中西悟堂」「ソビエト共産党指導部体制を若返らせた54歳の新書記長ゴルバチョフの誕生」「世界の冒険家・探検家として輝かしい足跡を残したが、マッキンリーの冬季単独登頂後、猛吹雪の中で行方を絶った植村直己」「日本の分子生物学のパイオニアであり、生命科学の権威である渡辺格」について説明した。

さて、本稿で取り扱ったキーワードはいずれも何らかのかたちで現代社会の突出部分を示すものばかりである。別稿(その8)を含めて、これら様々のジャンルのキーワードを全体としてひっくるめて一つの特徴を抽出することは困難であるため、ここでは文章化を終えた筆者の心境について述べ、最後のまとめに代えることとしたい。TV番組表の中から現代社会のシンボルとしてのキーワードを取り出す作業を筆者なりの手続きに従って5年間継続してきたのであるが、確かに新聞に掲載されるTV番組表には新人アイドル歌手なみに新しいことばの記号が毎月続々とデビューしている。1ヵ月前には見たことも聞いたこともなかった、あるいは特に意識して使ったこともなかったことばがいつの間にかTV番組表の中でやたらに目につくようになってきたりする。TV番組表(そしてTV)というものはどうも現代社会の表層部分を浮遊する触覚センサーに似ている。日々のTV番組表上に乱舞することばの記号群に振りまわされることなく、筆者としては現代社会を象徴する高度の記号としてのキーワードを発見しなければならないと思う。

幸か不幸か現在の筆者には自己をがんじがらめにする研究手法としての構造的枠組を持ち得ていない。一つの体系の中に自己の研究対象をしぼり込んでいく力を持ち合わせていない。逆にこの点をメリットとして生かして、TV番組表に乱舞することばの記号群を柔軟に操作し探究してみたいと考えている。TV番組表との「にらめっこ」を5年間続けてきていささかバテ気味の筆者ではあるが、「継続は力なり」の座右の銘だけを頼みとして、今後もTV番組表を研究素材とする現代社会の総合理解を深化させ、TV番組表を通じての合科総合学習を展開させ

たいと念じている。

## 参 考 文 献

別稿(その8)に示した1)～19)の参考文献のほか、下記の文献を参考とした。

- 1) 南山堂医学大辞典第16版 NANZANDO'S MEDICAL DICTIONARY, 南山堂(1978)
- 2) N. メイス, P. ラビンス著, 中野英子訳: ぼけが起ったら, サイマル出版会(1985)
- 3) 藤田雄三: 朝日年鑑1985年版, 朝日新聞社(1985)
- 4) 朝日新聞編集局: 現代のことば小事典, 朝日ソノラマ(1983)
- 5) 清水将之: 青い鳥症候群——偏差値エリートの末路, 弘文堂(1983)
- 6) 加藤好男: 授業分析の手法と評価, T E T A第25回教授・学習過程における評価セミナーテキスト(1985)
- 7) 教育・福祉法規研究会編: 精選幼児教育・社会福祉法規の解説 59年版, 建帛社(1984)
- 8) 上野繁樹編: ブリタニカ国際年鑑1985, ティビーエス・ブリタニカ年鑑株式会社(1985)
- 9) 朝日新聞社編: 現代人物事典, 朝日新聞社(1977)
- 10) 石森延男代表: 国語一(中学校国語科用), 光村図書出版(1985)

## 掲載した写真の出所

- 映像1 毎日新聞'85年6月5日号, 毎日新聞社(1985)
- 映像2 上野繁樹編: ブリタニカ国際年鑑1985, 77, ティビーエス・ブリタニカ年鑑株式会社(1985)
- 映像3 映像2に同じ, 96,
- 映像4 映像2に同じ, 104,
- 映像5 映像2に同じ, 66,
- 映像6 日本写真新聞社編: 日本写真年鑑'85, 63, 日本写真新聞社(1985)
- 映像7 毎日新聞'85年3月3日号, 毎日新聞社(1985)